

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)公開番号
特開2025-88871
(P2025-88871A)

(43)公開日 令和7年6月12日(2025.6.12)

(51)国際特許分類	F I	テーマコード (参考)
B 4 1 J 2/01 (2006.01)	B 4 1 J 2/01 3 0 5	2 C 0 5 6
	B 4 1 J 2/01 4 5 1	
	B 4 1 J 2/01 3 0 3	

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全11頁)

(21)出願番号	特願2023-203648(P2023-203648)	(71)出願人	000137823
(22)出願日	令和5年12月1日(2023.12.1)		株式会社ミマキエンジニアリング
			長野県東御市滋野乙2182-3
		(74)代理人	100125690
			弁理士 小平 晋
		(72)発明者	小林 新
			長野県東御市滋野乙2182-3 株式
			会社ミマキエンジニアリング内
		(72)発明者	山岸 哲
			長野県東御市滋野乙2182-3 株式
			会社ミマキエンジニアリング内
		(72)発明者	依田 泰輝
			長野県東御市滋野乙2182-3 株式
			会社ミマキエンジニアリング内
		F ターム (参考)	2C056 EA24 EB12 EB36 FA10
			最終頁に続く

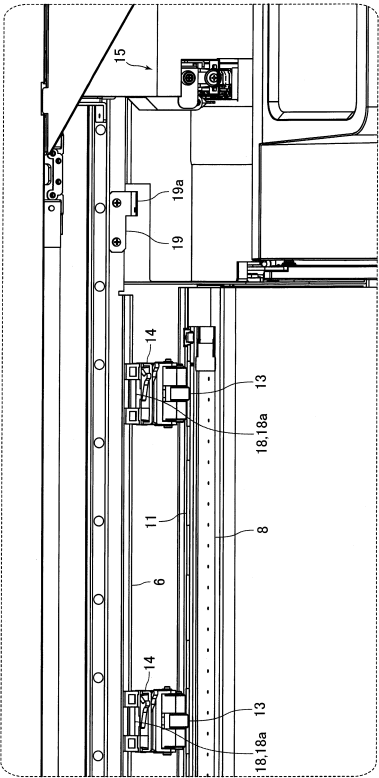
(54)【発明の名称】 媒体処理装置

(57)【要約】

【課題】媒体の幅方向に移動可能なキャリッジと媒体の幅方向に移動可能なピンチローラとを備える媒体処理装置において、媒体の幅方向におけるピンチローラの位置と媒体の幅方向におけるキャリッジの原点位置とを適切に検知することが可能であっても、部品点数を削減してコストを低減することが可能な媒体処理装置を提供する。

【解決手段】この媒体処理装置は、搬送ローラ11に向かって付勢されるとともに媒体の幅方向に移動可能な複数のピンチローラ13と、媒体の幅方向におけるピンチローラ13の位置を検知するための第1被検知部材18と、媒体の幅方向におけるキャリッジの原点位置を検知するための第2被検知部材19と、第1被検知部材18および第2被検知部材19を検知するためのセンサとを備えている。この媒体処理装置では、第1被検知部材18の第1被検知部18aの形状と第2被検知部材19の第2被検知部19aの形状とが異なっている。

【選択図】図4



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

媒体を搬送するための搬送ローラと、前記搬送ローラを駆動するローラ駆動機構と、前記搬送ローラに向かって付勢されるとともに前記搬送ローラとの間で前記媒体を挟む複数のピンチローラと、複数の前記ピンチローラのそれぞれが回転可能に取り付けられる複数のローラ保持部材と、前記媒体の厚さ方向と前記媒体の搬送方向とに直交する前記媒体の幅方向に移動可能なキャリッジと、前記媒体の幅方向に前記キャリッジを移動させるキャリッジ駆動機構と、前記キャリッジを移動可能に保持するとともに前記ローラ保持部材が取り付けられる保持フレームと、前記媒体の幅方向における前記ピンチローラの位置を検知するための第 1 被検知部材と、前記媒体の幅方向における前記キャリッジの原点位置を検知するための第 2 被検知部材と、前記第 1 被検知部材および前記第 2 被検知部材を検知するためのセンサとを備え、

10

前記ローラ保持部材は、前記保持フレームに対して前記媒体の幅方向に移動可能になっており、

前記センサは、前記キャリッジに搭載され、

前記第 1 被検知部材は、前記センサによって検知される第 1 被検知部を有するとともに、複数の前記ローラ保持部材のそれぞれに取り付けられているか、または、複数の前記ローラ保持部材のそれぞれと一体で形成され、

前記第 2 被検知部材は、前記センサによって検知される第 2 被検知部を有するとともに前記保持フレームに取り付けられ、

20

前記第 1 被検知部の形状と前記第 2 被検知部の形状とが異なっていることを特徴とする媒体処理装置。

【請求項 2】

前記第 2 被検知部は、穴が開いた平板状に形成され、

前記第 1 被検知部は、穴が開いていない平板状に形成されていることを特徴とする請求項 1 記載の媒体処理装置。

【請求項 3】

前記センサは、間隔をあけた状態で対向する発光部と受光部とを有する透過型の光学式センサであることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の媒体処理装置。

【請求項 4】

30

前記キャリッジに搭載されるとともに前記媒体に向かってインクを吐出するインクジェットヘッドを備えることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の媒体処理装置。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、媒体に対して所定の処理を行うための媒体処理装置に関する。

【背景技術】

【0002】

従来、インクを吐出して媒体に印刷を行う印刷装置が知られている（たとえば、特許文献 1 参照）。特許文献 1 に記載の印刷装置は、インクを吐出する印刷ヘッドと、印刷ヘッドが搭載されるキャリッジと、キャリッジを主走査方向に移動させるキャリッジ駆動機構と、媒体を搬送する媒体搬送機構とを備えている。媒体搬送機構は、媒体を搬送するための送りローラと、送りローラを駆動するローラ駆動機構と、送りローラに向かって付勢されるとともに送りローラとの間で媒体を挟む複数のピンチローラとを備えている。ピンチローラは、主走査方向に移動可能になっている。特許文献 1 に記載の印刷装置では、媒体に印刷される画像のレイアウトに応じて印刷前に主走査方向にピンチローラを移動させている。

40

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

50

【特許文献１】特開２０１９－１４２００５号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【０００４】

特許文献１に記載の印刷装置では、媒体に印刷される画像のレイアウトに応じて主走査方向にピンチローラを移動させているため、主走査方向においてピンチローラがどの位置に配置されているのかを把握する必要がある。したがって、この印刷装置では、主走査方向におけるピンチローラの位置を適切に検知する必要がある。また、特許文献１に記載の印刷装置では、媒体に対する適切な印刷を行うために、印刷ヘッドが搭載されるキャリッジを、主走査方向における原点位置を基準にして動作させる必要がある。したがって、この印刷装置では、主走査方向におけるキャリッジの原点位置を適切に検知する必要がある。

10

【０００５】

そこで、本発明の課題は、媒体の幅方向に移動可能なキャリッジと媒体の幅方向に移動可能なピンチローラとを備える媒体処理装置において、媒体の幅方向におけるピンチローラの位置と媒体の幅方向におけるキャリッジの原点位置とを適切に検知することが可能であっても、部品点数を削減してコストを低減することが可能な媒体処理装置を提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【０００６】

上記の課題を解決するため、本発明の媒体処理装置は、媒体を搬送するための搬送ローラと、搬送ローラを駆動するローラ駆動機構と、搬送ローラに向かって付勢されるとともに搬送ローラとの間で媒体を挟む複数のピンチローラと、複数のピンチローラのそれぞれが回転可能に取り付けられる複数のローラ保持部材と、媒体の厚さ方向と媒体の搬送方向とに直交する媒体の幅方向に移動可能なキャリッジと、媒体の幅方向にキャリッジを移動させるキャリッジ駆動機構と、キャリッジを移動可能に保持するとともにローラ保持部材が取り付けられる保持フレームと、媒体の幅方向におけるピンチローラの位置を検知するための第１被検知部材と、媒体の幅方向におけるキャリッジの原点位置を検知するための第２被検知部材と、第１被検知部材および第２被検知部材を検知するためのセンサとを備え、ローラ保持部材は、保持フレームに対して媒体の幅方向に移動可能になっており、センサは、キャリッジに搭載され、第１被検知部材は、センサによって検知される第１被検知部を有するとともに、複数のローラ保持部材のそれぞれに取り付けられているか、または、複数のローラ保持部材のそれぞれと一体で形成され、第２被検知部材は、センサによって検知される第２被検知部を有するとともに保持フレームに取り付けられ、第１被検知部の形状と第２被検知部の形状とが異なっていることを特徴とする。

20

30

【０００７】

本発明の媒体処理装置では、媒体の幅方向におけるピンチローラの位置を検知するための第１被検知部材の第１被検知部の形状と、媒体の幅方向におけるキャリッジの原点位置を検知するための第２被検知部材の第２被検知部の形状とが異なっている。そのため、本発明では、キャリッジに搭載される共通のセンサによって第１被検知部と第２被検知部とが検知されても、第１被検知部と第２被検知部とを区別して認識することが可能になる。

40

【０００８】

すなわち、本発明では、第１被検知部を検知するためのセンサと第２被検知部を検知するためのセンサとが個別に設けられていなくても、共通のセンサによって、媒体の幅方向におけるピンチローラの位置と媒体の幅方向におけるキャリッジの原点位置とを適切に検知することが可能になる。したがって、本発明では、媒体の幅方向におけるピンチローラの位置と媒体の幅方向におけるキャリッジの原点位置とを適切に検知することが可能であっても、媒体処理装置の部品点数を削減して媒体処理装置のコストを低減することが可能になる。

【０００９】

50

本発明において、第２被検知部は、穴が開いた平板状に形成され、第１被検知部は、穴が開いていない平板状に形成されていることが好ましい。このように構成すると、第１被検知部の形状と第２被検知部の形状とを比較的容易に異ならせることが可能になる。

【００１０】

本発明において、たとえば、センサは、間隔をあけた状態で対向する発光部と受光部とを有する透過型の光学式センサである。また、本発明において、たとえば、媒体処理装置は、キャリアッジに搭載されるとともに媒体に向かってインクを吐出するインクジェットヘッドを備えている。すなわち、媒体処理装置は、たとえば、インクジェットプリンタである。

【発明の効果】

10

【００１１】

以上のように、本発明では、媒体の幅方向に移動可能なキャリアッジと媒体の幅方向に移動可能なピンチローラとを備える媒体処理装置において、媒体の幅方向におけるピンチローラの位置と媒体の幅方向におけるキャリアッジの原点位置とを適切に検知することが可能であっても、媒体処理装置の部品点数を削減して媒体処理装置のコストを低減することが可能になる。

【図面の簡単な説明】

【００１２】

【図１】本発明の実施の形態にかかる媒体処理装置の斜視図である。

【図２】図１に示す媒体処理装置の背面図である。

20

【図３】図１に示す媒体処理装置の構成を説明するための概略図である。

【図４】図１のＥ部の構成を正面側から説明するための拡大図である。

【図５】（Ａ）は、図４に示す第１被検知部材等の平面図であり、（Ｂ）は、図４に示す第２被検知部材等の平面図であり、（Ｃ）は、（Ｂ）のＦ－Ｆ方向から第２被検知部およびセンサを示す側面図である。

【発明を実施するための形態】

【００１３】

以下、図面を参照しながら、本発明の実施の形態を説明する。

【００１４】

（媒体処理装置の全体構成）

30

図１は、本発明の実施の形態にかかる媒体処理装置１の斜視図である。図２は、図１に示す媒体処理装置１の背面図である。図３は、図１に示す媒体処理装置１の構成を説明するための概略図である。図４は、図１のＥ部の構成を正面側から説明するための拡大図である。

【００１５】

本形態の媒体処理装置１は、インクを吐出して媒体２（図３参照）に印刷を行う業務用のインクジェットプリンタである。したがって、本形態の説明では、媒体処理装置１を「プリンタ１」とする。媒体２は、たとえば、印刷用紙、布帛または樹脂製のフィルム等である。また、媒体２は、長尺状（細長い帯状）に形成されている。プリンタ１は、媒体２に向かってインクを吐出するインクジェットヘッド３（以下、「ヘッド３」とする。）と、ヘッド３が搭載されるキャリアッジ４と、主走査方向（図１等のＹ方向）にキャリアッジ４を移動させるキャリアッジ駆動機構５と、キャリアッジ４を移動可能に保持する保持フレームとしてのＹバー６と、媒体２を搬送する媒体搬送機構７と、媒体２が載置されるプラテン８とを備えている。

40

【００１６】

ヘッド３は、下側に向かってインクを吐出する。ヘッド３の下面には、インクを吐出する複数のノズルが形成されている。ヘッド３は、ノズルからインクを吐出させる圧電素子（ピエゾ素子）を備えている。キャリアッジ４は、主走査方向に移動可能になっている。キャリアッジ駆動機構５は、たとえば、２個のプーリと、２個のプーリに架け渡されるとともに一部がキャリアッジ４に固定されるベルトと、プーリを回転させるモータとを備えている

50

。プラテン 8 は、キャリッジ 4 よりも下側に配置されている。プラテン 8 には、印刷時の媒体 2 が載置される。Y バー 6 は、主走査方向に細長い細長形状に形成されている。なお、Y バー 6 は、1 つの部材によって構成されていても良いし、複数の部材によって構成されていても良い。

【0017】

以下の説明では、主走査方向（Y 方向）を「左右方向」とし、上下方向（鉛直方向、Z 方向）と左右方向とに直交する図 1 等の X 方向を「前後方向」とする。また、左右方向の一方側である図 1 等の Y 1 方向側を「右」側とし、右側の反対側である図 1 等の Y 2 方向側を「左」側とし、前後方向の一方側である図 1 等の X 1 方向側を「前」側とし、前側の反対側である図 1 等の X 2 方向側を「後ろ」側とする。左右方向は、媒体 2 の厚さ方向と媒体 2 の搬送方向とに直交する媒体 2 の幅方向と一致している。すなわち、本形態の左右方向（Y 方向）は、媒体 2 の幅方向である。また、上下方向（Z 方向）は、プラテン 8 に載置される印刷時の媒体 2 の厚さ方向であり、前後方向（X 方向）は、プラテン 8 の上を移動する媒体 2 の搬送方向であるとともに副走査方向である。

【0018】

媒体搬送機構 7 は、媒体 2 を搬送するための搬送ローラ（グリッドローラ）11 と、搬送ローラ 11 を駆動するローラ駆動機構 12 とを備えている。本形態の媒体搬送機構 7 は、1 本の搬送ローラ 11 を備えている。また、媒体搬送機構 7 は、搬送ローラ 11 に向かって付勢されるとともに搬送ローラ 11 との間で媒体 2 を挟む複数のピンチローラ 13 と、複数のピンチローラ 13 のそれぞれが回転可能に取り付けられる複数のローラ保持部材 14 とを備えている。媒体搬送機構 7 は、たとえば、7 本のピンチローラ 13 と 7 個のローラ保持部材 14 とを備えている。

【0019】

搬送ローラ 11 およびピンチローラ 13 は、左右方向を回転の軸方向として回転可能になっている。搬送ローラ 11 の左右方向の幅は、ピンチローラ 13 の左右方向の幅よりも広がっている。搬送ローラ 11 およびピンチローラ 13 は、プラテン 8 の後ろ側に配置されている。ピンチローラ 13 は、搬送ローラ 11 の真上に配置されており、搬送ローラ 11 に上側から対向している。また、複数のピンチローラ 13 は、左右方向において間隔をあけた状態で配置されている。媒体搬送機構 7 によって搬送される媒体 2 は、搬送ローラ 11 とピンチローラ 13 との間に挟まれている。ローラ駆動機構 12 は、モータと、モータの動力を搬送ローラ 11 に伝達するベルトやプーリ等の動力伝達機構とを備えている。

【0020】

ローラ保持部材 14 は、樹脂で形成されている。ローラ保持部材 14 は、Y バー 6 に取り付けられている。また、ローラ保持部材 14 は、Y バー 6 に対して左右方向に移動可能になっている。本形態では、印刷される媒体 2 の幅等に応じて、プリンタ 1 のオペレータが媒体 2 の印刷前に手動でローラ保持部材 14 を Y バー 6 に対して左右方向に移動させる。ローラ保持部材 14 には、ローラ保持部材 14 を Y バー 6 に固定するためのクランプ機構が取り付けられている。このクランプ機構は、ローラ保持部材 14 が Y バー 6 に固定されるクランプ状態と、ローラ保持部材 14 が Y バー 6 に対して左右方向に移動可能となるアンクランプ状態とに切り替え可能になっている。媒体 2 の印刷時には、クランプ機構はクランプ状態となっている。オペレータが手動でローラ保持部材 14 を左右方向に移動させるときには、クランプ機構をアンクランプ状態にする。

【0021】

なお、媒体搬送機構 7 は、複数のピンチローラ 13 と搬送ローラ 11 との間に媒体 2 の一部が挟まる媒体保持位置と、複数のピンチローラ 13 が搬送ローラ 11 から離れる退避位置との間でピンチローラ 13 を移動させるピンチローラ移動機構を備えている。プリンタ 1 に媒体 2 がセットされるときには、ピンチローラ 13 が退避位置に移動し、プリンタ 1 に媒体 2 がセットされると、ピンチローラ 13 が媒体保持位置に移動する。

【0022】

10

20

30

40

50

また、プリンタ 1 は、ヘッド 3 の下面に形成される複数のノズルの目詰まりを防止するためのメンテナンスユニット 15 を備えている。メンテナンスユニット 15 では、ヘッド 3 の複数のノズルに目詰まりが発生しないように、ヘッド 3 のクリーニングが行われる。たとえば、メンテナンスユニット 15 では、ヘッド 3 のノズル内のインクを強制的に吸引するパーキング、ヘッド 3 のノズルからインクを強制的に吐出させるフラッシング、および、所定のワイパー部材によってヘッド 3 の下面を拭うワイピングが行われる。メンテナンスユニット 15 は、プリンタ 1 の右端部に配置されている。

【0023】

さらに、プリンタ 1 は、左右方向におけるピンチローラ 13 の位置を検知するための第 1 被検知部材 18 と、左右方向におけるキャリッジ 4 の原点位置を検知するための第 2 被検知部材 19 と、第 1 被検知部材 18 および第 2 被検知部材 19 を検知するためのセンサ 20 とを備えている。以下、第 1 被検知部材 18、第 2 被検知部材 19 およびセンサ 20 の構成を説明する。

【0024】

(第 1 被検知部材、第 2 被検知部材およびセンサの構成)

図 5 (A) は、図 4 に示す第 1 被検知部材 18 等の平面図であり、図 5 (B) は、図 4 に示す第 2 被検知部材 19 等の平面図であり、図 5 (C) は、図 5 (B) の F-F 方向から第 2 被検知部 19 a およびセンサ 20 を示す側面図である。

【0025】

センサ 20 は、間隔をあけた状態で対向する発光部 21 と受光部 22 とを有する透過型の光学式センサである。センサ 20 は、キャリッジ 4 に搭載されている。具体的には、本形態のプリンタ 1 では、媒体 2 を切断するためのカッターユニット 23 がキャリッジ 4 に取り付けられており、カッターユニット 23 にセンサ 20 が搭載されている。すなわち、センサ 20 は、カッターユニット 23 を介してキャリッジ 4 に搭載されている。また、センサ 20 は、キャリッジ 4 の後面側に配置されている。発光部 21 と受光部 22 とは、上下方向で対向している。なお、センサ 20 は、キャリッジ 4 に直接搭載されていても良い。

【0026】

第 1 被検知部材 18 は、複数のローラ保持部材 14 のそれぞれと一体で形成されている。すなわち、プリンタ 1 は、ピンチローラ 13 およびローラ保持部材 14 と同数の第 1 被検知部材 18 を備えている。第 1 被検知部材 18 は、センサ 20 によって検知される第 1 被検知部 18 a を備えている。第 1 被検知部 18 a は、長方形の平板状に形成されている。また、第 1 被検知部 18 a は、穴が開いていない平板状に形成されている。第 1 被検知部 18 a は、第 1 被検知部 18 a の厚さ方向と上下方向とが一致するように配置されている。第 1 被検知部 18 a は、ローラ保持部材 14 の前面側に配置されている。また、第 1 被検知部 18 a は、キャリッジ 4 と一緒に左右方向に移動するセンサ 20 の、発光部 21 と受光部 22 との間を遮ることが可能な位置に配置されている。

【0027】

第 2 被検知部材 19 は、たとえば、所定形状に形成された金属製の平板を所定形状に折り曲げることで形成されている。第 2 被検知部材 19 は、Y バー 6 に取り付けられている。本形態では、プリンタ 1 の右端側がキャリッジ 4 の原点位置になっており、第 2 被検知部材 19 は、Y バー 6 の右端部に取り付けられている。また、第 2 被検知部材 19 は、ネジによって Y バー 6 の前面側に固定されている。第 2 被検知部材 19 は、センサ 20 によって検知される第 2 被検知部 19 a を備えている。第 2 被検知部 19 a は、長方形の平板状に形成されている。第 2 被検知部 19 a には、第 2 被検知部 19 a を貫通する貫通穴 19 b が形成されている。すなわち、第 2 被検知部 19 a は、穴が開いた平板状に形成されている。

【0028】

第 2 被検知部 19 a は、第 2 被検知部 19 a の厚さ方向と上下方向とが一致するように配置されている。第 2 被検知部 19 a は、Y バー 6 の前面側に配置されている。また、第

10

20

30

40

50

第2被検知部19aは、キャリッジ4と一緒に左右方向に移動するセンサ20の、発光部21と受光部22との間を遮ることが可能な位置に配置されている。また、第2被検知部19aは、発光部21から受光部22に向かう光軸が貫通穴19bを通過することが可能な位置に配置されている。上述のように、第1被検知部18aは、穴が開いていない平板状に形成されている一方で、第2被検知部19aは、穴が開いた平板状に形成されている。すなわち、第1被検知部18aの形状と第2被検知部19aの形状とは異なっている。

【0029】

左右方向におけるキャリッジ4の原点位置を検知するときには、原点位置よりも左側に配置されているキャリッジ4を右側に移動させ、センサ20によって第2被検知部19aが検知された位置を左右方向におけるキャリッジ4の原点位置とする。左右方向におけるピンチローラ13の位置の検知は、左右方向におけるキャリッジ4の原点位置を基準にしてキャリッジ4を移動させることで行われる。センサ20によって第1被検知部18aが検知された位置が左右方向におけるピンチローラ13の位置となる。

【0030】

（本形態の主な効果）

以上説明したように、本形態では、左右方向（主走査方向）におけるピンチローラ13の位置を検知するための第1被検知部材18の第1被検知部18aの形状と、左右方向におけるキャリッジ4の原点位置を検知するための第2被検知部材19の第2被検知部19aの形状とが異なっている。具体的には、第2被検知部19aに貫通穴19bが形成されている一方で、第1被検知部18aには貫通穴は形成されていない。そのため、本形態では、キャリッジ4に搭載される共通のセンサ20によって第1被検知部18aと第2被検知部19aとが検知されても、貫通穴の有無によって第1被検知部18aと第2被検知部19aとを区別して認識することが可能になる。

【0031】

すなわち、本形態では、第1被検知部18aを検知するためのセンサと第2被検知部19aを検知するためのセンサとが個別に設けられていなくても、共通のセンサ20によって、左右方向におけるピンチローラ13の位置と左右方向におけるキャリッジ4の原点位置とを適切に検知することが可能になる。したがって、本形態では、左右方向におけるピンチローラ13の位置と左右方向におけるキャリッジ4の原点位置とを適切に検知することが可能であっても、プリンタ1の部品点数を削減してプリンタ1のコストを低減することが可能になる。

【0032】

本形態では、第2被検知部19aは、穴が開いた平板状に形成され、第1被検知部18aは、穴が開いていない平板状に形成されている。そのため、本形態では、第1被検知部18aの形状と第2被検知部19aの形状とを比較的容易に異ならせることが可能になる。

【0033】

（他の実施の形態）

上述した形態は、本発明の好適な形態の一例ではあるが、これに限定されるものではなく本発明の要旨を変更しない範囲において種々変形実施が可能である。

【0034】

上述した形態において、第1被検知部18aの形状と第2被検知部19aの形状とが異なっているのであれば、第2被検知部19aに貫通穴19bが形成されていなくても良いし、第1被検知部18aに貫通穴が形成されていても良い。また、上述した形態において、第1被検知部18aの形状と第2被検知部19aの形状とが異なっているのであれば、第1被検知部18aおよび第2被検知部19aは、長方形以外の任意の形状に形成されていても良い。

【0035】

上述した形態において、第1被検知部材18は、ローラ保持部材14と別体で形成されていても良い。この場合には、第1被検知部材18は、複数のローラ保持部材14のそれ

10

20

30

40

50

それに取り付けられている。また、上述した形態において、センサ 20 は、反射型の光学式センサであっても良いし、光学式センサ以外のセンサであっても良い。さらに、上述した形態において、媒体 2 は長尺状に形成されていなくても良い。また、本発明が適用される媒体処理装置 1 は、インクジェットプリンタ以外のプリンタであっても良いし、プリンタ以外の、媒体 2 に対して所定の処理を行う装置であっても良い。たとえば、媒体処理装置 1 は、媒体 2 を所定の形状に切断するカッティングプロッタであっても良い。

【符号の説明】

【0036】

1 プリンタ（インクジェットプリンタ、媒体処理装置）

2 媒体

10

3 ヘッド（インクジェットヘッド）

4 キャリッジ

5 キャリッジ駆動機構

6 Yバー（保持フレーム）

11 搬送ローラ

12 ローラ駆動機構

13 ピンチローラ

14 ローラ保持部材

18 第1被検知部材

18a 第1被検知部

20

19 第2被検知部材

19a 第2被検知部

20 センサ

21 発光部

22 受光部

Y 媒体の幅方向

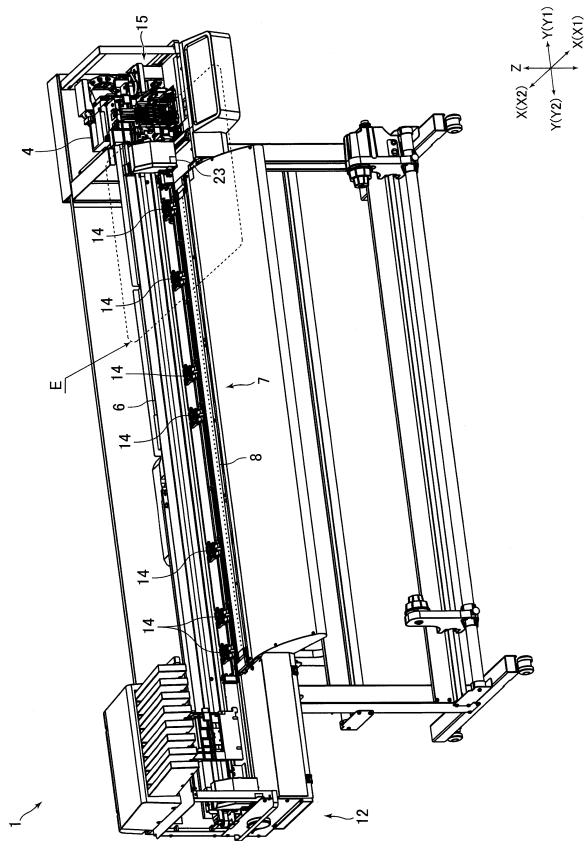
30

40

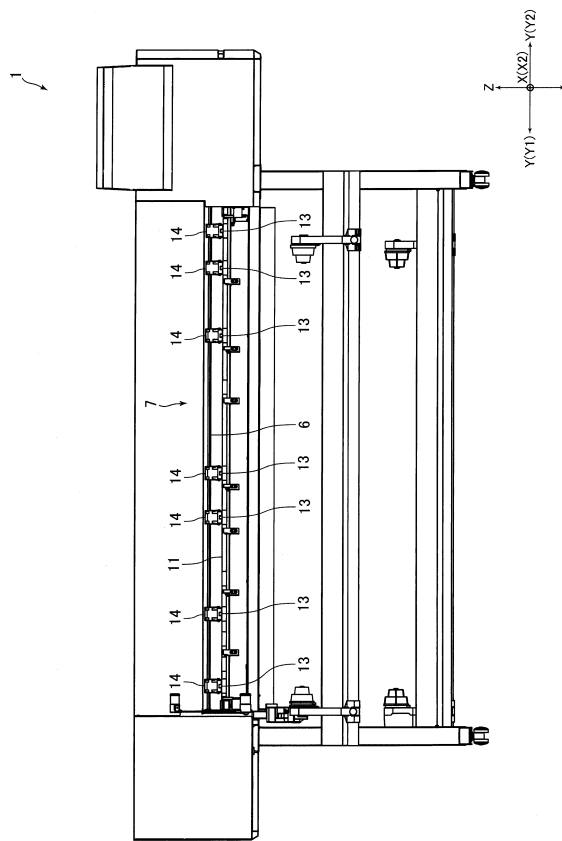
50

【図面】

【図 1】



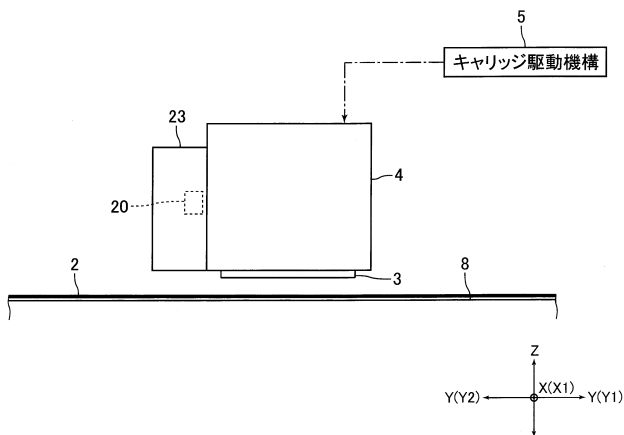
【図 2】



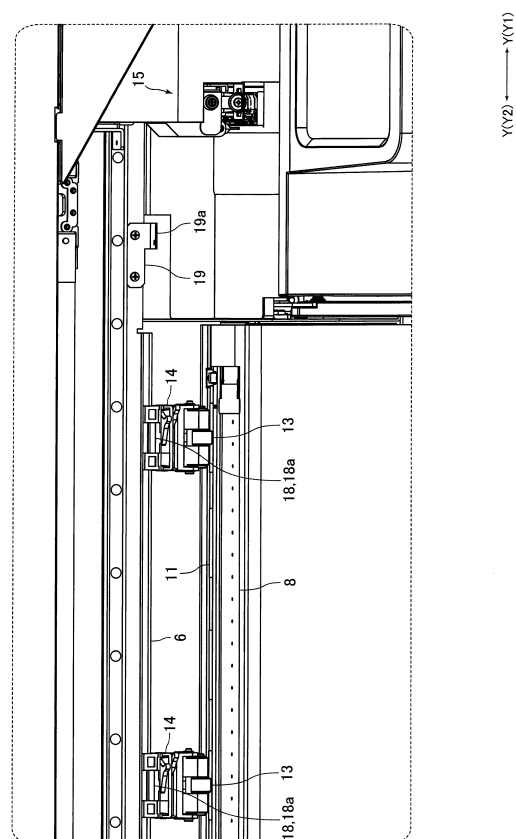
10

20

【図 3】



【図 4】



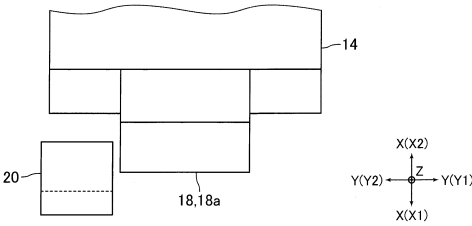
30

40

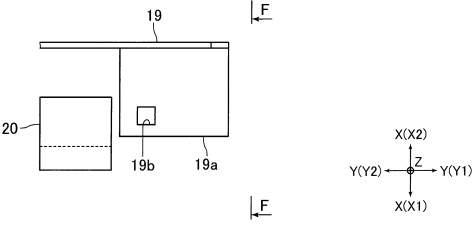
50

【図 5】

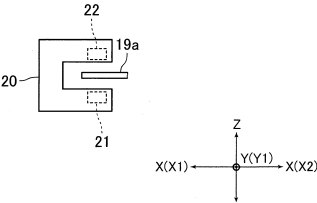
(A)



(B)



(C)



10

20

30

40

50

フロントページの続き

Fターム (参考) HA29 HA37